



京町家まちづくりファンド

京町家を未来へ あなたの思いをファンドへ

京町家まちづくりファンドは、京町家を未来につなぐ基金です。皆さまのご支援をお願いします。ご寄附は、金融機関へのお振込、クレジットカード決済、当財団窓口での現金受付のいずれかの方法により、一口1,000円から受付しております。

令和2年度 改修助成事業募集について

京町家まちづくりファンドでは、京町家の保全・再生・活用を支援しています。詳しくは京町家まちづくりファンド専用ホームページをご覧ください。

募集期間 令和2年5月18日(月)～10月2日(金)

※9月25日(金)までに当財団との事前協議を終了する必要があります。

京町家まちづくりファンド専用ホームページ

URL: <http://kyoto-machisen.jp/fund>

京都市景観・まちづくりセンターの活動について

市民・企業・行政によるパートナーシップのまちづくりを推進し、京都らしい景観の保全・創造、質の高い住環境の形成などに取り組んでいます。住民の自主的な活動を支援し、まちづくり活動の拠点として、まちづくりに関する各種の相談に対して助言および情報提供を行っています。

まちづくり相談

地域の状況に応じたまちづくりの進め方について、活用できるまちづくりの制度や他の地域の取組事例などの様々な情報をご紹介するほか、まちづくりの専門家の派遣や、活動費助成(一部)などの支援を行っています。

京町家なんでも相談

京町家の維持・継承に伴う様々な悩みや不安の解消に向けて、様々な情報をご紹介するほか、専門的な内容については、大工・建築士・不動産事業者などの専門家と連携した支援を行っています。

賛助会員募集

当財団の活動趣旨に賛同していただける方を賛助会員として募集しています。会費は、まちづくり活動の支援、京町家の保全、再生に向けた取組、当財団の運営等に活用させていただきます。

年会費 個人1口 5,000円/団体1口 50,000円 **特典** ニュースレター

メルマガ会員も募集中。ホームページからご登録いただけます。

※賛助会費は、当財団への寄附金として税法上の優遇措置が適用され、確定申告により所得税・法人税の控除が受けられます。

問い合わせ先 公益財団法人 京都市景観・まちづくりセンター

〒600-8127 京都市下京区西木屋町通上ノ口上る梅湊町83番地の1

(河原町五条下る東側)「ひと・まち交流館 京都」地下1階

TEL:075-354-8701 FAX:075-354-8704

Eメール: machi.info@hitomachi-kyoto.jp

URL: <http://kyoto-machisen.jp>

まちセン 京都

- 交通機関
- バス** 市バス 4,17,205号系統「河原町正面」下車
 - 電車** 京阪電車:「清水五条」又は「七条」下車 徒歩8分
地下鉄烏丸線:「五条」下車 徒歩10分
 - 車** 立体駐車場(最初の1時間410円、以降30分ごとに200円/45台程度)
※できるかぎり公共交通機関をご利用ください。



景観・まちづくり大学

令和2年度
夏季



景観・まちづくり大学は、京都の景観・まちづくりについて多様な視点から学び、考え、実践へとつないでいくことのできる人材を育むことを目指しています。京都らしい美しい景観や、住みよいまちを未来に引き継いでいくために、明日の京都のまちづくりを担う皆さんの活動を応援します。元気なまちへの第一歩、あなたから始めませんか。

夏季 セミナースケジュール

京のまちづくり史連続講座

有料

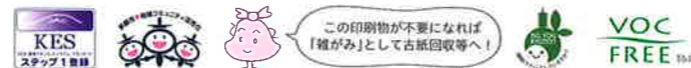
- 7月6日(月) 京都の神社と祭り
都市住民が育み支えた歴史と空間
- 8月17日(月) 近世京都における禁裏とまちのつながり
- 9月25日(金) 番組小学校に学ぶまちづくりの知恵

京町家再生セミナー

有料

- 7月29日(水) まちなじむ京町家の意匠
- 8月21日(金) 親から受け継いだ京町家の中を片づける
-再生のためのはじめの一歩-

京都市景観・まちづくりセンターでは、新型コロナウイルス感染拡大防止の措置として、センター入口での消毒液の設置、通常より広い座席間隔の確保、適切な換気などを行います。また、ご参加の皆様には、マスクの着用をお願いいたします。



令和2年度 景観・まちづくり 大学 夏季

申込方法 下記の申込先に、いずれかの方法でお申し込みください。

申込先 京都市景観・まちづくりセンター
電話 075-354-8701 受付時間：月～土 9:00～21:30、日・祝 9:00～17:00
 休館日：毎月第3火曜日(祝日にあたる場合は翌日)
FAX 075-354-8704 ※おかけ間違いにご注意ください。
Eメール machi.info@hitomachi-kyoto.jp

※申込の際、**セミナー名、氏名(ふりがな)、電話番号**をお知らせください。
 ※FAX、Eメールで申し込まれた場合、抽選の結果、参加不可の際に当センターから連絡いたします。
 ※**申込後のキャンセルは、当センターまで、必ずご連絡をお願いいたします。**
 申込受付期限後でも、定員に達していないセミナーは受講を受け付けますので、当センターまでお問い合わせください。

CPD：景観・まちづくり大学は、建築士会CPD制度認定プログラムです。
 建築士等、専門家の方々もぜひご参加ください。

問合せ先 京都市景観・まちづくりセンター
共催 京都市都市計画局まち再生・創造推進室

京のまちづくり史連続講座 受講料(資料代等):1講座1,010円(学生500円 ※学生証をご提示ください)

まちづくり活動に関わる方、関心がある方、学んでいる方を対象に、京都のまちづくりに取り組むうえでの基礎を体系的に学ぶ全9回の連続講座です。京都のまちがどのように成り立ち現在に至ったか、様々な時代背景の中での人々の営みや、その中で育まれたまちづくりの知恵を学び、見識を深めることで、これからの京都の景観・まちづくりに役立てます。

開催日	テーマ
5月16日(土)	まちと人の関わり(日程変更)
6月25日(木)	自治の発展と定着
7月6日(月)	祭礼とコミュニティ
8月17日(月)	禁裏と町
9月25日(金)	学区・番組小学校
10月23日(金)	近代京都の基盤整備
11月27日(金)	近代建築
令和3年	
1月22日(金)	都市災害
2月26日(金)	これからのまちづくり

※テーマは変更になる場合があります

京都の神社と祭り 都市住民が育み支えた歴史と空間

定員50名 (申込多数の場合は抽選) 申込受付開始：6月15日(月) 申込受付期限：7月3日(金)

講師 本多 健一氏(大阪観光大学准教授)
日時 7月6日(月) 19:00～21:00
会場 京都市景観・まちづくりセンター
 ワークショップルーム

京都では、平安京以降、都市ゆへの疫病の発生などにより、怨霊や疫神を慰撫し鎮めて送り出す御霊・天王信仰が成立し、やがて地域の守り神としての氏神信仰へ発展していきました。後に氏子区域が成立し、同じ都市でありながら、氏子区域ごとに異なる氏神を信仰し、固有の祭りを執り行ってきました。これによりそれぞれ独自の特徴や個性・魅力が伝えられています。京都の神社と祭りを通じて、それを支えてきた京都の人々の暮らしやまちづくりを振り返ります。

近世京都における禁裏とまちのつながり

定員50名 (申込多数の場合は抽選) 申込受付開始：6月15日(月) 申込受付期限：8月14日(金)

講師 岸 泰子氏(京都府立大学准教授)
日時 8月17日(月) 19:00～21:00
会場 京都市景観・まちづくりセンター
 ワークショップルーム

京都は、豊臣政権による都市改造から徳川幕藩体制下で、王権都市としての基盤が創出継承され、都市の中核である禁裏を支えるまちとして発展を遂げてきました。幕府などの支配権力や寺社の影響も受けながら、禁裏と町のつながりはどうだったか、人々はどう暮らしていたか、改めて禁裏の役割に注目しながら明らかにします。令和の時代を迎え、現代における王都の意義を考えます。

番組小学校に学ぶまちづくりの知恵

定員50名 (申込多数の場合は抽選) 申込受付開始：6月15日(月) 申込受付期限：9月22日(火)

講師 林 潤平氏(京都市学校歴史博物館学芸員)
日時 9月25日(金) 19:00～21:00
会場 京都市景観・まちづくりセンター
 ワークショップルーム

昨年創設150周年を迎えた番組小学校。明治のはじめに一時衰退の危機に瀕した京都を立て直すためには、人材の育成が急務と考えた町衆と篤志家は、自治組織「番組」を組織し、その番組を学区として小学校を設立しました。運営費には番組で「竈金(かまどきん)」を集め、番組ごとに、特色のある建物や運営、教育が行われました。地域のコミュニティセンターの役割も担っていた番組小学校で行われた多様な学びから、学校・教育がまちづくりに果たした役割を振り返ります。

京町家再生セミナー

受講料(資料代等):1講座500円

京町家の所有者や居住者、具体的に京町家の居住や活用を検討している方向けのセミナーです。年間を通して、改修の手法、相続、資金調達、活用方法など、今すぐ役立つ京町家の保全・再生に関する様々な専門知識をわかりやすく学びます。

まちになじむ京町家の意匠

定員50名 (申込多数の場合は抽選) 申込受付開始：6月15日(月) 申込受付期限：7月26日(日)

講師 栗山 裕子氏(京町家相談員(建築士)、WIN建築設計事務所 主宰)
 マツモトヨーコ氏(画家、イラストレーター)
日時 7月29日(水) 18:30～20:30
会場 京都市景観・まちづくりセンター
 ワークショップルーム

本来の京町家の外観が既に失われている場合、改修の際に「京町家らしい」外観に戻したいと思われる方はたくさんいらっしゃいます。でも、「京町家らしさ」とは、と考えると案外難しい問題がたくさんあります。京都らしいまちなみにすんなりとなじむ京町家の意匠とは？それぞれの建物の個性や歴史をふまえた姿とは？京町家の改修を多く手掛ける建築士と、京都を愛する画家が「京町家らしさ」についてお話しします。

親から受け継いだ京町家の中を片づける -再生のための最初の一步-

定員50名 (申込多数の場合は抽選) 申込受付開始：6月15日(月) 申込受付期限：8月19日(水)

講師 古田 ゆかり氏(生前整理アドバイザー準一級認定指導員)
日時 8月21日(金) 18:30～20:30
会場 京都市景観・まちづくりセンター
 ワークショップルーム

使われていない京町家を所有している方が、「建物の今後」を考える際に大きな問題となるのが、残された荷物の「片づけ」です。空き家となっている実家を活用したいが、両親の私物が大量に残されている、何年も使ったことがない道具類がたくさん蔵の中にある、もしかしたら貴重品や思い出の品が含まれているかもしれないのですべてゴミとして処分するのはちょっと…、など「片づけ」には案外大変な労力や費用が必要です。京町家の再生・継承の第一歩として、生前整理アドバイザー準一級認定指導員に片づけのコツや極意をお聞きします。

